

令和7年2月10日

久留米市議会議長 吉富 巧 様

議会広報委員長 松岡 保治

議員派遣報告書

本委員会は、会議規則第160条の規定に基づく派遣について、次のとおり実施しましたので、報告書を提出します。

記

1. 日程 : 令和7年1月15日(水)～16日(木)
2. 派遣先 : 神奈川県相模原市
3. 視察内容 : 議会の広報について
4. 派遣議員 : 委員長 松岡 保治
委員長職務代理者 堺 太一郎
委員 古賀 としかず、吉武 憲治、生野 薫、
石田 眞一郎
5. 報告書 : 視察報告書のとおり
6. その他 : 随行 上野 泰平

視察報告書

委員会名	議会広報委員会
視察日時	令和7年1月15日（水） 午後3時00分 ～ 午後4時30分
視察先・概要	神奈川県相模原市 人口：約72万3千人 面積：328.91 k m ² 特記事項：政令指定都市
視察内容	議会広報の取組について
選定理由	市議会独自のホームページを持っていることが選定理由の一つ。その他、議会だよりの取り組みや、SNSの活用、市議会紹介ポスター、議会広報に関するアンケートなど様々な取り組みについて調査し、今後の議会広報の充実に向けた取り組みの参考とするため。
調査概要	相模原市議会において、議会局の坪井次長の挨拶に引き続き、政策調査課の内山統括副主幹から議会広報の取り組みについての説明を聴取し、質疑応答を行った。  ＜視察の様子：相模原市＞

調査内容	市議会のホームページは、平成 26 年に全面リニューアルし、市のホームページから独立。ホームページの作成は、会議録検索システムや議会中継システムと同一の保守運用業者に委託。 リニューアル前のホームページは、二元代表制の一翼を担う議会としての「独自性」が反映できていないのではないか、議会と閲覧者との「双方向コミュニケーション」を実現する方法が必要ではないか、という認識だった。 リニューアル時の視点としては、即時性や、メニューの改善（必要な情報がすぐに見つかるように配置する）、外部リンクである「会議録・議会中継」との連携、アクセシビリティの確保、SNS の活用（HP との相乗効果）などがあった。 リニューアルから 10 年経過し、現在の動向（トレンド）に取り残されている可能性があるため、「次のリニューアル」の検討が必要だと考えている。（ウェブアクセシビリティの確保、外国語への対応、AI の活用など） 市議会だよりは、平成 30 年にリニューアルし、新聞折込を想定して、タブロイド判の全面カラー 8 ページで作成。企画編集は、職員が行い、企画編集業務は委託していない。1 面画像の「アイデア出し」には毎回苦労している。 配布方法は、新聞折込がメインで、新聞購読者数と連動しているため、配布数は減少している。その他は、希望者へのポスティングや、市の施設や駅へ配布している。令和 3 年度から配架先にコンビニを追加。 広聴広報課が行っている「市政に関する世論調査」により、議会だよりの閲覧状況の分析を、3 年ごとに行っている。令和 6 年度に実施の調査では、読んでいる方の割合は 34.4% で、3 年ごとの経年変化では、ほぼ横ばいの状況。 SNS については、Facebook と Instagram に取り組んでいて、会議の予定や正副議長の公務などの情報発信としての使用に限定している。 市議会紹介ポスターについては、定例会を紹介（周知）することが目的で、平成 28 年度から女子美術大学にデザインを委託している。市と大学が包括連携協定を締結したことや、選挙年齢の引き下げなどが、取り組みのきっかけとなっている。
------	--

	「市政に関する世論調査」とは別に、令和 6 年度に、インターネット上で議会広報に関するアンケートを実施。調査項目は議会広報全般について。その中で、議会に関心をもってもらうための媒体として、「アニメやゲームとのコラボ」「議会として、学校などの施設を訪問しての対話」「YouTube などを活用した、わかりやすく親しみやすい案内」などの意見が出ている。
主な 質疑応答	問：ホームページリニューアル時の導入コストと、ランニングコストはどのくらいか。また、新たにリニューアルを検討してあるようだが、どのような内容か。 答：ホームページ独立については少し古い話なので、残っている情報になるが、会議録検索システムや議会中継システムを同一業者に委託していて、連携していくほうが良いと考えて一者随意契約している。導入費用については 100 万円もかかっていないのではないかと。毎年の保守点検費は、50 万円ほど。 今後のリニューアルについては、課題などをまだ整理しきれていない。新たにリニューアルすると、前回と同額の費用ではできないと考えている。参考までに、今のホームページに外国語翻訳システムを入れると、250 万円ほどだと聞いている。 問：議会だよりについては、ターゲットを絞っているのか。 答：ターゲットは絞っていない。しかし、議員から、年齢層などターゲットを絞ると手に取ってもらえるのではないかと意見があったので、今後そういったことも意識して記事作りしていきたいと考えている。 問：今後の議会だよりの配送についてどう考えているのか。 答：新聞折込は減ってきているので、ポスティングを促していくしかない。また、配架先としてはコンビニのように、目に入る場所を増やしていきたい。 問：SNS 運用の職員のかかわり方と、導入の考え方について。 答：SNS は職員がやっているもので、議員は関わっていない。SNS を導入する時には、年齢層に注目していた。当時は年齢層が高い方ほど紙をご覧になっていて、40 歳代の方は SNS で Facebook をやられていたので導入した。X (旧 Twitter) は短文で伝えきれない。若い年齢層が手薄だということで、令和になって Instagram を導入したが、フォロワーがなかなか増えていない状況。ただ、Facebook と

Instagram は同じメタ社ということで、1 回投稿すると両方に反映されるので、2 回投稿する労力はない。

問：市議会紹介ポスターはどういったところに掲示しているのか。また、大学生への謝礼はあるのか。

答：ポスターは定例会ごとに違うデザインとなっている。紙のポスターは、基本的には公共施設に掲示している。また、デジタルサイネージも行っていて、駅や商業施設にもお願いしている。ただ、掲示場所がなかなか広げられていない状況である。

ポスターについて一枚当たり 55,000 円の委託料を支払っている。参加している学生さんは 5 名ほどいて、一人当たり 2 枚以上書いてもらっているので、採用されない方もいる。



<集合写真：相模原市議会議場にて>

その他 (意見・感想)	資料も含めて、相模原市議会と久留米市議会の取り組み内容を比較した説明があり、課題などの現状を改めて認識できた。 本市議会では、ホームページや、市議会だよりの紙面、SNS の充実が課題であり、それらを見直すにあたり、参考にしていきたい。特に、ホームページのリニューアルについては、大変参考になった。 より多くの市民の方に、ホームページや議会だよりを見てもらうのは難しいが、見てもらえるように取り組みを進めたい。政治に感心を持ってもらえるように、これからのデジタル化への対応など環境の変化も踏まえ、情報発信のさらなる充実に向けて、議会広報の在り方やその手法について、協議・検討していきたい。
------------------------	--